

令和元（2019）年度 事業報告書

計画件名	実施状況									
1. プロジェクト実施に必要なコンサルティングおよび支援活動										
(1) 技術アドバイス、コーディネート活動の充実 (2) 北陸ライフサイエンスクラスタの形成事業 ① 北陸ライフサイエンスクラスタ推進協議会 ② 重金属計測装置の販路開拓支援（Ⅲ期事業で JAIST の招へい研究者ビヤニ氏が開発） ③ インド人技能実習生受け入れ機関の設立 ④ 新しいサプリメント創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ JAIST 地域連携推進センター特任教授として活動（週 1 回） ■ JAIST と鯖江市とで相互に交流会、見学会を実施した後、JAIST と鯖江市及び鯖江商工会議所が相互連携協定締結 ■ 金沢工業大学による文部科学省事業「金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム形成」に産業界委員として参加 ■ 金沢工業大学「新時代の里山都市創生イノベーション研究プロジェクト」に評価委員として参加 <p><その他活動></p> <table border="1" data-bbox="592 976 1445 1126"> <thead> <tr> <th>コーディネート活動</th> <th>件数</th> <th>具体的内容・成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依頼件数・提案件数</td> <td>23 件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マッチング件数 *</td> <td>11 件</td> <td>産学 7 件、産産 2 件、他 2 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* マッチング件数は面談件数。</p> <p>開催日：令和 2 年 3 月 13 日（金）（書面開催） 議題：2019 年度の活動報告及び 2020 年度活動計画 各県の取組み報告 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ベトナム国での販売促進活動を支援 ■ 神奈川県企業に提案したが、性能、価格面から導入は困難な状況 ■ 本装置を応用した新型コロナウイルス検出用簡易キットとして、北経連・経団連地域経済活性化に向けた連携協定を使い国内企業に提案を行ったが、共同開発に至らなかった。 ■ 昨年度より継続。魚津の事業者がビヤニ大学から技能実習生受け入れるため、受け入れ機関の設立を進めていたが、社内事情から受入れ等の新規事業は当面延期となった。 ■ 平成 29 年度経産省地域中核企業創出支援事業に参画した東京の企業より、同社の新商品として甘草を原料にしたサプリ 	コーディネート活動	件数	具体的内容・成果	依頼件数・提案件数	23 件		マッチング件数 *	11 件	産学 7 件、産産 2 件、他 2 件
コーディネート活動	件数	具体的内容・成果								
依頼件数・提案件数	23 件									
マッチング件数 *	11 件	産学 7 件、産産 2 件、他 2 件								

計画件名	実施状況
<p>⑤ 中国北京市内での予防クリニック新設のコンサルティング</p> <p>(3) 「北陸地域における工作機械を中心とした産業高度化連携支援計画」に基づく支援事業の遂行</p>	<p>メントの製造・販売について相談を受け、錠剤を製造する富山市の企業と、安全性・効果に関する臨床試験を行う魚津の企業とのマッチングを行った。</p> <p>富山市の企業が試験用の錠剤を完成させ、魚津の企業にて約60人に対し臨床試験を行った。</p> <p>魚津の企業より元気増進効果について継続した臨床試験の提案があり、検討することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年、北京市の企業より予防医療サービスを提供している魚津の企業と同様の施設を北京市で建設したいという相談があり、魚津の企業とのマッチングを進め、北京市の企業と魚津の企業とでコンサル契約が成立した。魚津の企業の業務は予防医療の研修他 ■ 2020年4月に現地の北京市内で建築工事着工の予定であったが、コロナの影響から工事着工が遅れ、魚津の企業が受託した業務も同様に遅れている。 ■ 3県のIoT、AI相談窓口の情報交換会実施 開催日：令和元年5月30日 場 所：石川県工業試験場 参加者：各県、公設試、経産省北陸支局 他 15名 内 容：・各県よりIoT、AI導入支援状況等を紹介し、意見交換実施 ・HIACより今年度の経産省事業について紹介 ・見学会 いしかわAI・IoT技術支援工房 ■ 平成30年度における「承認連携支援計画の実施状況報告書」を提出（6月20日付） 支援事業の実績件数4件（計画件数1件） ■ 東京大学地域未来社会連携研究機構との共催によるセミナー「データ駆動型社会における北陸地域の未来」開催 開催日：令和2年2月19日 場 所：ホテル金沢 参加者：92名 内 容：東京大学大学院情報学環長 越塚 登氏による講演 他

計画件名	実施状況
<p>(4) 国等の事業への支援（共催、後援、協賛）</p>	<p>【後援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国際ガラス展 金沢 2019 主 催：国際ガラス展 金沢開催委員会 開催日：令和元年 10 月 30 日～11 月 11 日 場 所：石川県政しいのき迎賓館 ■ (公財)中部圏社会経済研究所研究報告・定例講演会 主 催：(公財)中部圏社会経済研究所 開催日：令和元年 8 月 23 日 場 所：金沢ニューグランドホテル ■ 情報モラル啓発セミナーin 福井 主 催：(公財)ハイパーネットワーク社会研究所 開催日：令和元年 10 月 9 日 場 所：福井市地域交流プラザ 研修室 601 ■ IoT 導入支援セミナーin 鯖江 主 催：総務省北陸総合通信局 開催日：令和元年 11 月 18 日（月） 場 所：鯖江商工会議所 ■ 地元就職促進に向けた学生に対する就職支援活動 主 催：金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム（5 回） ■ 大学を活用した新たな価値創出と組織活性化 主 催：金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム（2 回） ■ 工場向けワイヤレス IoT 講習会 in 金沢 主 催：総務省北陸総合通信局 開催日：令和元年 12 月 13 日 場 所：石川県地場産業振興センター ■ なかじまプロジェクト市民公開講座 主 催：金沢大学医薬保健研究域医学系 脳老化・神経病態学（脳神経内科学） 開催日：令和 2 年 2 月 1 日 場 所：能登演劇堂 ■ IoT 導入支援セミナーin 能美 主 催：総務省北陸総合通信局 開催日：令和 2 年 2 月 7 日 場 所：石川ハイテク交流センター ■ IoT 導入支援セミナーin 高岡 主 催：総務省北陸総合通信局、高岡商工会議所 開催日：令和 2 年 2 月 19 日 場 所：高岡商工ビル

計画件名	実施状況
2. 国等の委託・補助事業	
<p>(1) 文部科学省関連事業</p> <p>(2) 経済産業省関連事業</p> <p>① 健康寿命延伸産業創出推進事業</p> <p>② 地域中核企業ローカルイノベーション支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和元年度「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決(DSIGN-i)」について申請に向け準備を進めたが、3 県との調整不足により申請を見送った。 ■ 令和2年度の同事業については、単年度FS事業となり地域への波及効果が見込めないため、令和3年度に計画されている新規事業をターゲットとして研究会を新規設立し準備を進めることとした。 ■ 令和元年度「健康寿命延伸産業創出推進事業（地域の実情に応じたビジネスモデル確立支援事業）」において、（一財）北陸予防医学協会を代表機関、参加団体（HIAC、富山大学、永田メディカル、キュアコード）、協力団体（北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会、富山県、インテック）として申請した。⇒不採択 ■ 本事業の募集は今年度が最後であり、後継事業は令和2年度に概算要求している「ヘルスケアサービス社会実装事業」となる予定で、自治体等と連携し申請を計画する。 ■ 「北陸におけるヘルスケアに関連する地域未来牽引企業のイノベーションと波及効果創出事業」を申請（不採択） 事業概要：(1) 富山市が推進している健康食品事業の戦略策定、販路開拓、農工連携による波及効果を創出する。 (2) 生活習慣病（認知症を含む）を治療する先端医療機器の製品化、マーケティング、販路開拓、地域クラスター形成による波及効果を創出する。 ■ 「工作機械産業におけるC P S（Cyber Physical System）導入による競争力強化」を申請（採択） 事業概要：多品種少量生産のケースが増加している工作機械の開発・設計において、実機による試作・検証を極力行わず、コンピューター上でデジタルモデルを作成し、仮想的に試作・検証を実施することで、設計・開発工程の効率化、生産性向上を図る。 (1) 研究会を3回開催し、大手企業、大学、地元企業等より地元工作機械企業へ情報提供した。 8/9 第1回研究会「C P Sの概要と工作機械産業への導入可能性」 参加者 40名（工作機械企業14社）

計画件名	実施状況
	<p>内 容 専門家講演 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「デジタルモデルの作成と適用事例」 北陸先端科学技術大学院大学 ・「AI 工作機械シミュレータについて」 金沢工業大学 ・「デジタル・シミュレーション技術の最新動向」 アンシス・ジャパン株式会社 <p>10/2 第 2 回研究会「センサーデータの分析・活用と課題」 参加者 34 名（工作機械企業 11 社）</p> <p>内 容</p> <p> 専門家講演 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「デジタルツインの導入と IoT データの AI 分析・活用 に向けた取組み」 コマツ ・「IoT プラットフォームと金型への適用事例」 日本ユニシス・エクセリョーションズ株式会社 <p> 地元企業事例紹介 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「工作機械のスマートヘルスマonitoringシステムの 開発」 ・「AI を活用した生産スケジューリングの最適化」 <p>1/31 第 3 回研究会「CPS による効果と導入に向けた課題」 参加者 43 名（工作機械企業 15 社）</p> <p>内 容</p> <p> 専門家講演 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生産性・収益率向上の視点で取り組むサイバーフィ ジカルシステム～工作機械への IoT/AI+5G 導入、将来 の量子通信、量子計算活用の必然性～」 三菱電機株式会社 ・「産業機器における IoT データ活用とデジタルツインへ の展開」 サイバネットシステム株式会社 ・「先進企業視察報告」 コーディネータが報告 ・「デジタルモデル開発研修」受講報告 2 名 <p>(2) デジタルモデル開発研修</p> <p>11/ 5- 6 1 回目 講師：サイバネットシステム株式会社 受講者：9 名（7 社）</p> <p>11/26-27 2 回目 講師：株式会社 CAE ソリューションズ</p>

計画件名	実施状況
<p>③ 令和2年度 地域企業イノベーション支援事業</p>	<p>受講者：10名（9社）</p> <p>(3) 先進企業視察 コーディネータが視察し、概要を第3回研究会で報告した。 11/19 1回目 ・大手工作機械企業2社 12/9-10 2回目 ・大手電機機器企業2社</p> <p>(4) 事業報告書提出</p> <p>■ 「富山えごま6次産業化プラットフォームを核とした新しい販路開拓と機能性食品分野進出支援事業」を申請（不採択） 事業概要：富山市における農林水産分野のえごま6次産業化推進グループ企業が取組むえごま事業の新販路開拓に向け、ICT活用によるえごま商品の多消費地域、広告等効果の市場データをリアルタイムで把握できる商品需要見える化システムの開発・提供等により、販路開拓イノベーションの創出と付加価値の高い機能性食品化を目指すことで、富山えごま事業の稼ぐ力の向上・強化を実現する。</p> <p>■ 「モデルベースシミュレーション技術の向上による競争力強化」を申請（採択） 事業概要：工作機械におけるモデルベースシミュレーションの技術向上を目標に、工作機械の基本動作機構を用いた実践の場（ワークショップ）を提供・運営し、シミュレーションと実機の挙動合わせに必要なノウハウを獲得する。本事業により、開発設計における試作回数削減、設計リードタイムの短縮、設計検証の高効率化、生産性見える化を含む包括的な生産システムの構築等、工作機械製造のイノベーションを実現する。</p>
<p>3. 普及啓発活動</p>	
<p>(1) 技術シーズ（研究成果）の発表会等の開催 ① イノベーションシーズ講演会の開催</p>	<p>開催日 令和元年11月12日 場 所：ANAクラウンプラザホテル金沢 講 師：産業技術総合研究所 地質調査総合センター 戦略部 イノベーションコーディネーター(IC) 齋藤 眞 氏</p>

計画件名	実施状況
<p>② 北陸技術交流テクノフェアへの出展</p>	<p>演 題：『あなたの会社の場所は大丈夫か！？ ～ 地質はBCPの基本情報～』</p> <p>参加者 49名</p> <p>* 「Matching HUB Kanazawa 2019」における関係機関セミナーとして開催</p> <p>開催日：令和元年10月24-25日</p> <p>場 所：福井県産業会館</p> <p>主 催：技術交流テクノフェア実行委員会、HIACは共催</p> <p>内 容：R&D推進研究助成事業(H29年度採択分4件)の成果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「モバイル型迅速簡便微生物菌遺伝子検査システムの開発」 北陸先端科学技術大学院大学・(株)バイオデバイステクノロジー ・「炭素繊維を使用した低コストのポールの製造方法の開発」 三光合成(株) ・「超高張力鋼板の塑性加工金型向けに開発された硬質膜の実用化に関する研究」 フジタ技研(株)・石川県工業試験場・産業技術総合研究所中部センター・北陸先端科学技術大学院大学 ・「光架橋性人工核酸を用いた高精度なコンパニオン診断薬の開発」 福井大学・日華化学(株)
<p>③ 富山県ものづくり総合見本市への出展</p>	<p>開催日：令和元年10月31日-11月2日</p> <p>場 所：富山産業展示館</p> <p>内 容：北陸技術交流テクノフェアに同じ</p>
<p>④ Matching HUB Kanazawa 2019への出展</p>	<p>開催日：令和元年11月12日</p> <p>場 所：ANAクラウンプラザホテル金沢</p> <p>主 催：北陸先端科学技術大学院大学産学官連携本部、HIACは後援</p> <p>内 容：北陸技術交流テクノフェアに同じ</p>
<p>(2) 講演会・セミナー等の開催</p> <p>① 北陸産業活性化フォーラムの開催[H24年度から実施(今回が8回目)]</p>	<p>開催日：令和元年10月8日</p> <p>共 催：NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会 ほくりく先端複合材研究会 北陸マイクロナノプロセス研究会 ほくりく環境・バイオマス研究会</p>

計画件名	実施状況
(3) 会報誌の発行	<p>北陸経済連合会 場 所：石川ハイテク交流センター [講演・意見交換] 北陸先端科学技術大学院大学 [施設見学]</p> <p>内 容：</p> <p>①講演 ・講師 水田 博氏(北陸先端科学技術大学院大学卓越教授) ・演題 『グラフェンナノデバイスによる超高感度環境・生体ガスセンシング技術と熱制御技術の現状と展望』</p> <p>②『ナノテクノロジープラットフォーム事業』『JAIST 技術サービス制度』の紹介 講師 大木 進野氏(北陸先端科学技術大学院大学 ナノマテリアルテクノロジーセンター教授)</p> <p>③施設見学 水田研究室、ナノマテリアルテクノロジーセンター 他</p> <p>④意見交換・名刺交換会 参加者：59名[施設見学 47名]</p> <p>年2回発行</p> <p>■ 104号：令和元年 8月発行</p> <p>■ 105号：令和2年3月発行 (イノベーションシーズ講演会・北陸産業活性化フォーラムの講演録、活動実績・予定 等の紹介)</p>
4. 連絡会議等	
(1) 連絡会議	<p>■ 第46回全国産業活性化センター連絡会議 開催日：令和元年9月26日～27日 場 所：【会議】名鉄ニューグランドホテル（愛知県） 【視察】三菱重工 MRJミュージアム</p> <p>■ 全国地域技術センター連絡協議会</p> <p>・第1回事務連絡会 開催日：令和元年7月11日 場 所：航空会館（東京都）</p> <p>・第2回事務連絡会 開催日：令和元年11月14日～15日 場 所：【政策懇談会】八汐荘（沖縄県） 【視察】佐喜眞義肢 金武酒造</p>
5. 総務事項	
(1) 理事会	<p>■ 第26回理事会 開催日：令和元年6月6日 場 所：ホテル金沢</p>

計画件名	実施状況
<p>(2) 評議員会</p> <p>(3) 業務及び財産状況の検査</p> <p>(4) 登記事項</p> <p>(5) 労働基準監督署届出事項</p>	<p>参加者：理事 7 名、監事 1 名</p> <p>■ 第 27 回理事会 開催日：令和元年 6 月 28 日・・・書面決議</p> <p>■ 第 28 回理事会 開催日：令和 2 年 3 月 11 日 場 所：ホテル日航金沢 参加者：理事 6 名、監事 2 名</p> <p>■ 第 23 回評議員会 開催日：令和元年 6 月 28 日 場 所：ホテル金沢 参加者：評議員 7 名</p> <p>■ 第 24 回評議員会 開催日：令和 2 年 3 月 31 日 場 所：ホテル日航金沢 参加者：評議員 7 名</p> <p>監事監査（令和元年 5 月 29 日）</p> <p>一般財団法人変更登記申請 [理事・監事及び代表理事並びに評議員の変更] 登記日：令和元年 9 月 3 日</p> <p>■ 就業規則（変更）届：令和元年 7 月 24 日 ・「嘱託管理職員就業規則」の廃止 ・「嘱託職員就業規則」の廃止 ・「育児・介護休業等に関する規則」の改正 ・「労働者の過半数を代表するものの意見書」</p> <p>■ 時間外労働・休日労働に関する協定届：令和元年 7 月 24 日</p>